取扱説明書

NET-C52MEG

株式会社塚本無線

安全上の注意

ご注意

感電の危険があります

ご注意:
感電の危険を避けるため、本装置を雨や水分にさらさないでください。
必ずラベルに表示されている電源に接続して本装置を操作してください。
当社は当製品の使用によって生じた損害に対して、仮にその損害の可能性を指摘されていた場合でも一切責任は負いかねます。

正三角形の中に稲妻形の矢印があるマークは、製品内部の絶縁されていない箇所に“危険な電圧”が存在しており、人体に感電をもたらすほどの数値であることを警告するものです。

正三角形の中に感嘆符があるマークは、装置付属の文書内に重要な操作またはお手入れ(修理)に関するユーザーへの注意事項があることを示しています。

*雷が鳴った時本体、同軸ケーブルや電源プラグなどには触れないでください。
感電の原因となります。
*湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
*強い光の当たる場所と熱器具に近づけないでください。
*調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気、水滴が当たるような場所に置かないでください。
*周囲の温度が高い場合もしくは湿度が高い場合、温度が下がった際に内部で結露することがありますのでご注意ください。(操作の温度範囲 0° C~40° C)
*導電性の物質に近づけないでください。
*接続する際、システムに電源を入れないでください。
*ケーブルの距離を十分に確保してください。
*ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
*テレビ、ラジオなどの電気製品に近づけないでください。感電の原因となります。
*この機器を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。
*電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしないでください。コードが傷ついて,火災・感電の原因となります。(コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず,重い物をのせてしまうことがありますので注意してください)
*電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災、感電の原因となります。

目次

安全上の注意 ……1
目次 ……2
1. 外観 ……4
1.1 外観詳細 ……4
2. 接続方法 ……6
2.1 基本接続方法……6
2.1.1 接続図 ……6
2.1.2 ネットワークの設定 ……6
2.1.3 接続されたカメラを検索……7
2.1.4 ログイン ……8
2.2 ソフトウェアのインストール ……10
2.2.1 SecuUtility をインストール ……10
2.2.2 SecuCoverter をインストール ……12
2.3 PC の推奨スペック ……14
2.4 通常の接続に戻す ……15
3. メインページと基本設定 ……19
3.1 ユーザーログイン ……19
3.2 システムの状態 ……20
3.2.1 言語……20
3.2.2 シリアル番号……20
3.2.3 Mac アドレス……20
3.3 ライブ画像ページ……21
3.3.1 動画タイプ……21
3.3.2 ソース……21
3.3.3 デジタルズーム……21
3.3.4 ユーティリティー……21
3.3.5 ライト表示……22

4. 設定 ……23
4.1 ネットワークの設定……24
4.1.1 基本設定……24
4.1.1.1 IP アドレス……24
4.1.1.2 PPPoE 設定……25
4.1.1.3 Web ポート設定 ……25
4.1.2 アドバンス設定……26
4.1.2.1 ポート設定……26
4.1.3 サービス設定……27
4.1.3.1 DDNS 設定……27
4.1.3.2 SMTP 設定……28
4.1.3.3 RTSP 設定……29
4.1.3.4 携帯電話モード設定 ……29
4.1.3.5 UPnP 設定……30
4.1.3.6 FTP 設定……30
4.1.3.7 FTP アップロードイメージ……30
4.1.4 無線……31
4.1.4.1 無線ネットワーク設定 ……31
4.2.1 カメラ設定……33
4.2.2 ストリーミング設定……38
4.2.3 イベント録画……38
4.3 アラーム……40
4.3.1 アラーム設定……40
4.4 ユーザー管理……41
4.5 バックアップ……42
4.6 システム……44
4.6.1 基本設定……44
4.6.2 アドバンス設定……45
4.6.3 時間設定……47
4.6.4 サマータイム……48
4.7 シリアルポート……49
5 仕様……50

1. 外観

1.1 外観詳細

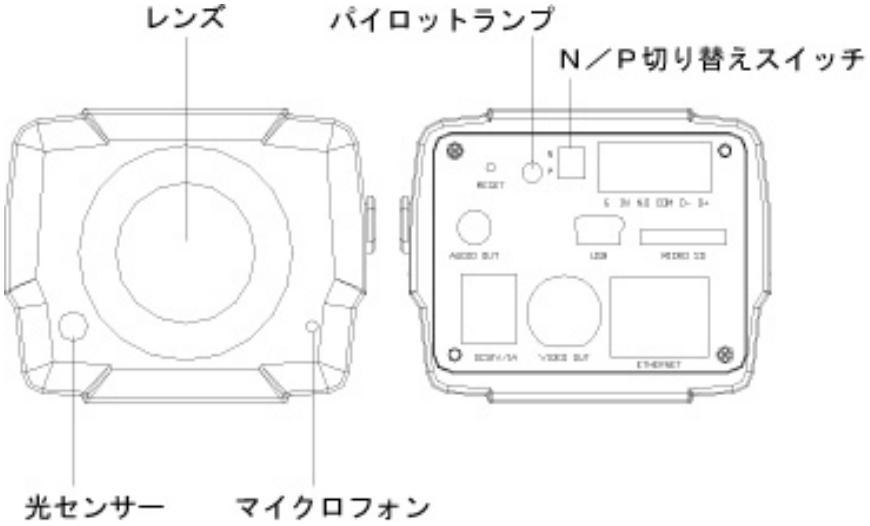


図 1

■ 光センサー
暗くなると自動で白黒画面に切り替えます。

■ 集音マイク

■ USB
USB ポート

■ RESET
システムがフリーズした時などに、５秒以上押し続けると
電源ランプが点滅します。確認後、保持を解除すると
電源ランプが点灯します。システムが初期化します。

■ AUDIO-OUT
スピーカ等の外部機器を接続できます。

■ NTSC/PAL 切り替えスイッチ
映像方式を変更できます。（日本は　ＮＴＳＣ）

■ マイクロ SD CARD SLOT
マイクロ SD カード（SD1.1,SD2.0 に対応）。カードを挿入及び取出時は、
電源を OFF にしてから行ってください。
最大３２ＧＢまでのＳＤＨＣカードに対応します。

■ 12 DC/1A
電源アダプターを挿し込んでください。

■ ETHERNET

ネットワーク接続ポート

■ RS485/ALARM

外部機器または、RS-485 を通じて PTZ カメラなどを接続できます。

各 PIN の説明

a. COM　　－ アラーム出力に対応する点に接続します。
b. ALARM N.O.　－ NO タイプのセンサー入力を接続します。
c. D-　　－ PTZカメラやコントローBOXなどの外部機器を接続します。
d. D+　　－ PTZカメラやコントローBOXなどの外部機器を接続します。
e. G　　－ グランド
f. Sensor In　－ センサー入力を接続します。

2. 接続方法

2.1　基本接続方法

2.1.1 接続図

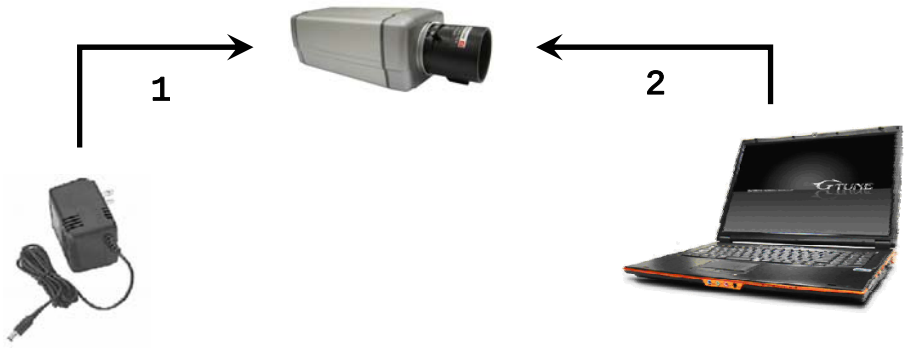


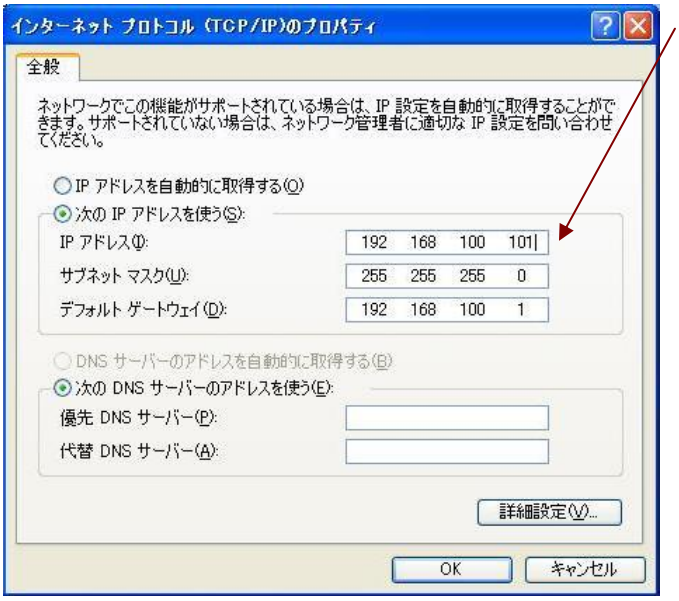
図2

(1) 12V 電源アダプターを IP カメラに接続します。
(2) 付属のクロスケーブルを使って IP カメラと PC を接続します。

2.1.2 ネットワークの設定

図２のように基本接続後、PC 及び IP カメラを同じネットワークグループに設定する必要があります。
IP カメラの初期設定は、IP アドレス 192.168.100.100 に設定されています。
お手持ちの PC アドレスを図 2-1 のように設定します。

Windows XP の場合
[マイ ネットワーク]右クリック→[プロパティ]→[ローカル エリア接続]
右クリック→[プロパティ]→[インターネット プロトコル(TCP/IP)]→
[プロパティ]→図 2-1 が表示します。
Windows 7 の場合
[マイ ネットワーク]右クリック→[プロパティ]→[ローカル エリア接続]→
[プロパティ]→[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IP)]→
[プロパティ]→図 2-1 が表示します。



設定例：
IP ｱﾄﾞﾚｽ：192.168.100.xxx
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ：255.255.255.0
ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ：192.168.100.1

※注意
xxx ｱﾄﾞﾚｽは、1~254 内から選び IP ｶﾒﾗの初期値である 100 以外の番号を選択します。

図 2-1

2.1.3 接続されたカメラを検索

(1) 付属の CD より SecuUtility をインストールします。
(3.3.1 ソフトウェアのインストールを参照ください。)

(2)

ダブルクリック、SecuUtility を作動させると図 2-2 が表示されます。

(3) 自動的にネットグループ内の機器を探し表示されます。

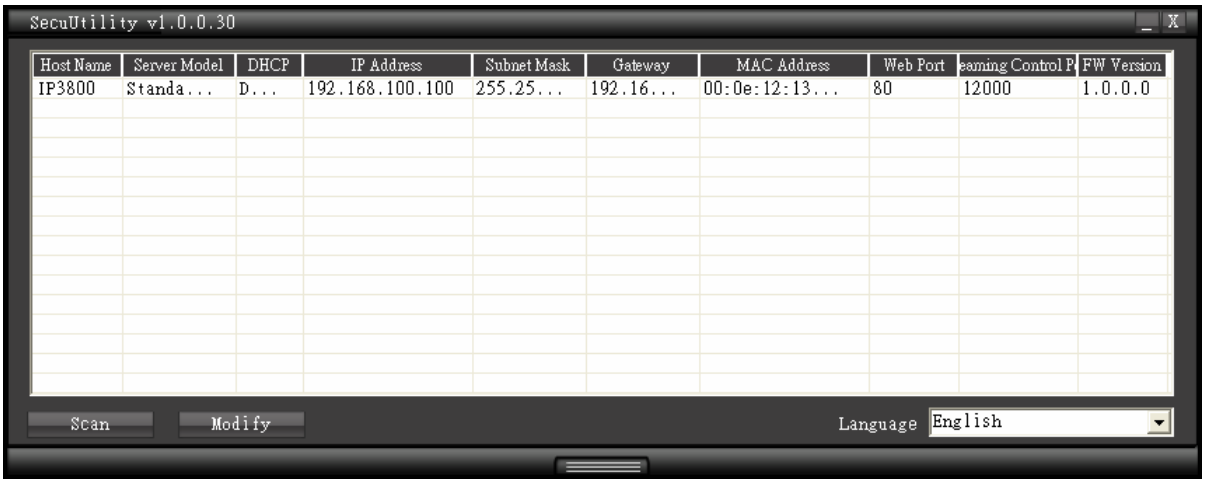


図 2-2

(4) 接続する機器を選択します。IP カメラの初期値は 192.168.100.100 です。

(5) IP アドレスをダブルクリックすると、IE が自動で起動され WEB イメージとして表示します。

2.1.4 ログイン

最初にセキュリティを変更する必要があります。

インターネットエクスプローラー（IE）を起動し、[ツール]→[インターネットオプション] →[詳細設定]→[オンラインからの攻撃を緩和に役立てるため、メモリ保護を有効にする]のチェックを外します。図 2-2 で表示されたアドレスをクリックすると IE が起動します。最初の画面にて上記文章の事柄を推奨する画面が出ることがあります。その時は終了させてもう一度アドレスをクリックしてください。

画面が表示する際、図 2-3 が POP-UP されますのでクリックし（すべての WEB サイトでアドオンを実行する）を選択し実行してください。

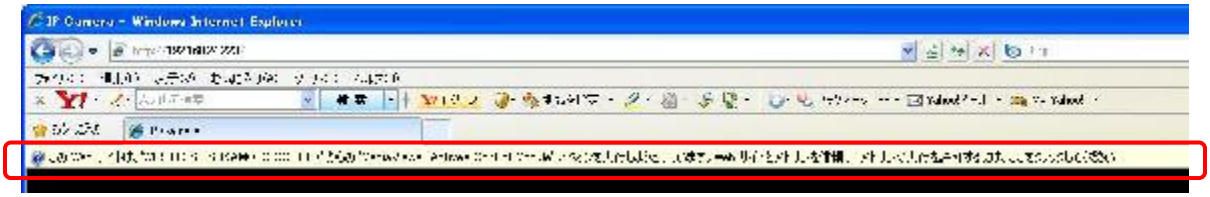


図2-3

下記画面がPOP-UPされましたら「実行する」を押してください。

図2-4

ログイン画面がでます。
Ｌａｎｇｇｕａｇｅ をJapanに変更してください

図2-5

(1) 下記のように暗証番号を打ち込みます。
a. 初期パスワードは、アカウント：admin　パスワード：adminです。
b. ログインボタンを押します。

図 2-6

(2) ログインに成功すると図2-7のような現在の画像が表示します。

図2-7

2.2 ソフトウェアのインストール

付属の CD より下記のプログラムをインストールすることができます。

2.2.1 SecuUtility をインストール

(1) Install SecuUtility Tool をクリックしてください。

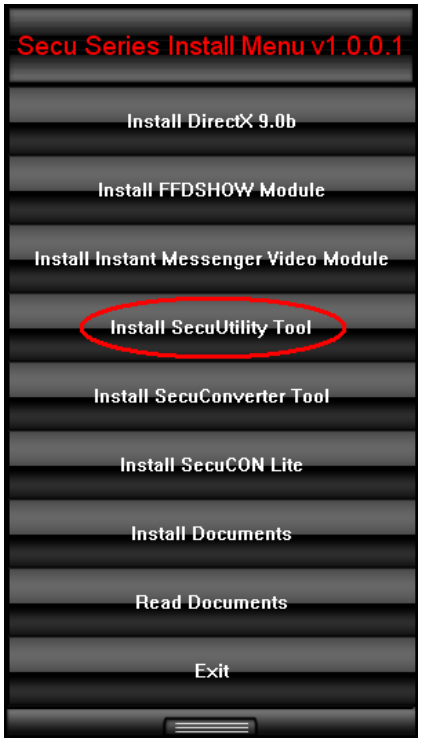


図 2-8

(3) 下記画面がでますので NEXT を押します。

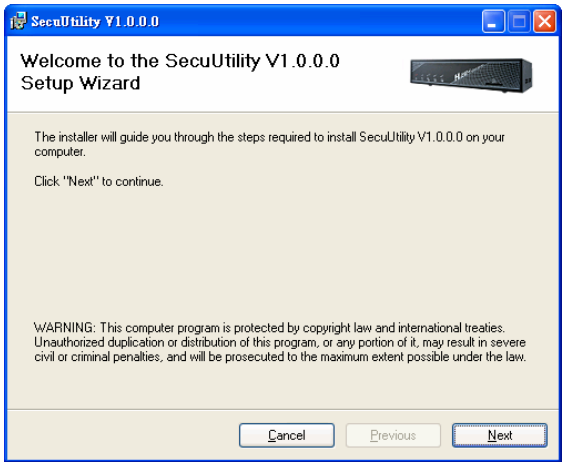


図 2-9

(4) インストール先のフォルダーを選んでください。

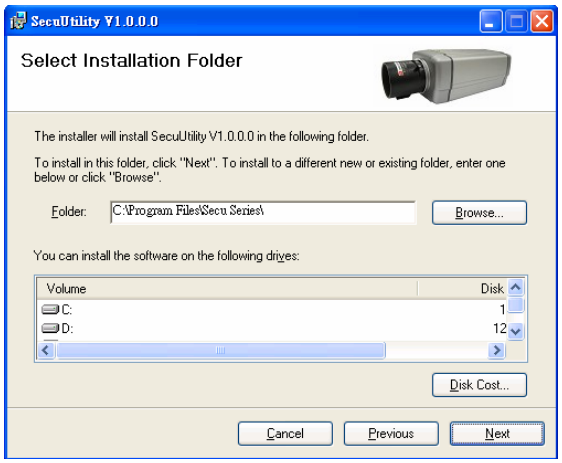


図 2-10

(5) Next を押します。

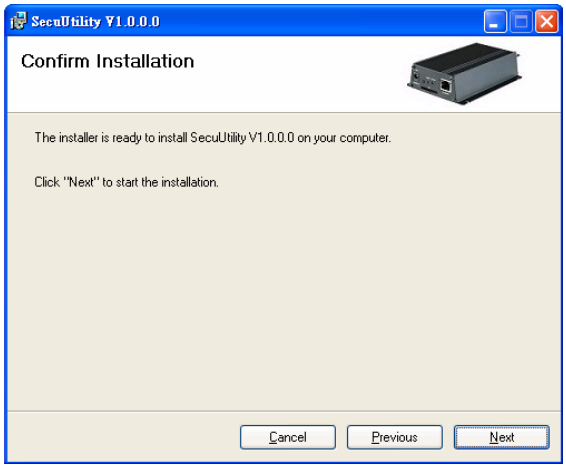


図 2-11

(6) インストール完了で、Close を押します。

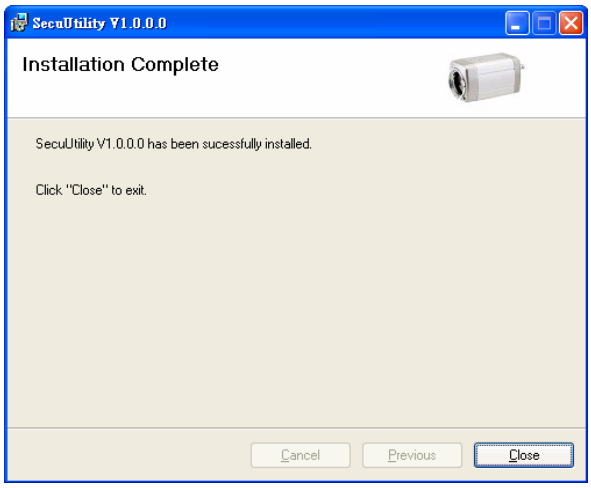


図 2-12

2.2.2 SecuConverter Tool インストール

ＳＤカードなどに録画したファイルを再生するときに必要ですのでインストールしてください。

(1) Install SecuConverter tool をクリックします。

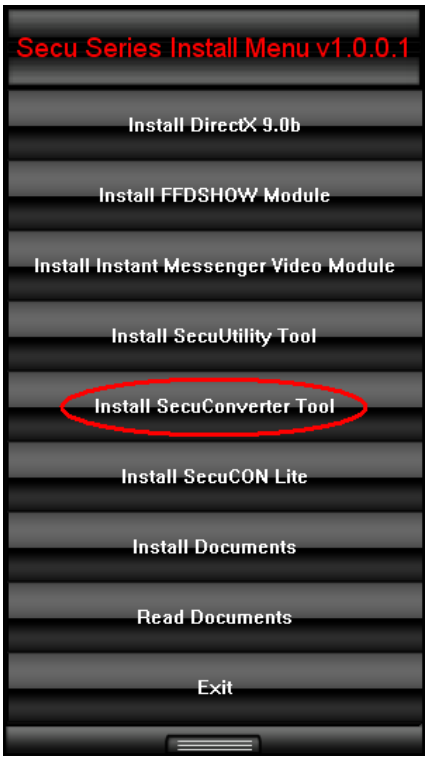


図 2-13

(2) Next を押します。

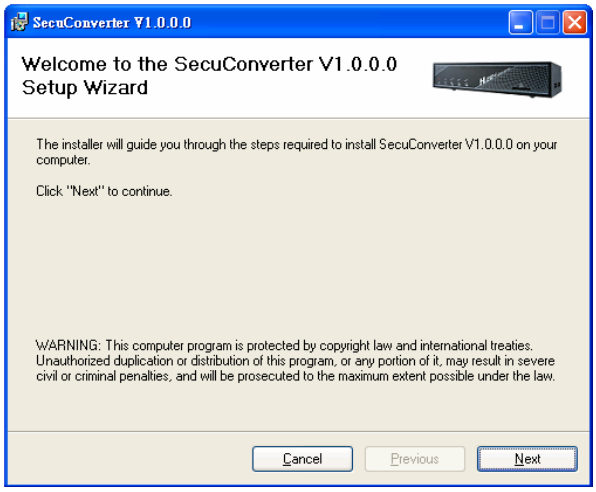


図 2-14

(3) インストール先のフォルダーを選んでください。

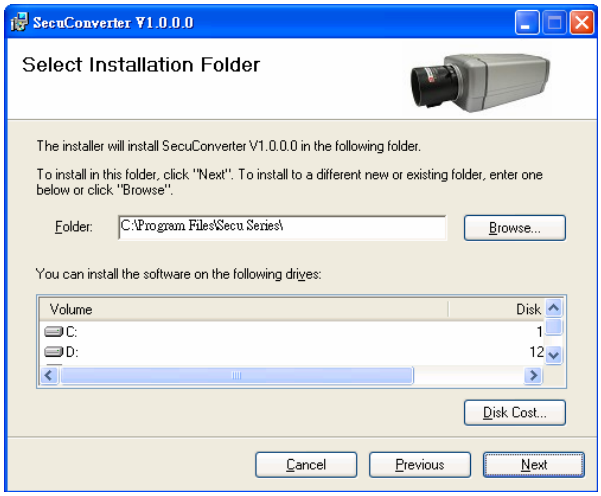


図 2-15

(4) Next を押します。

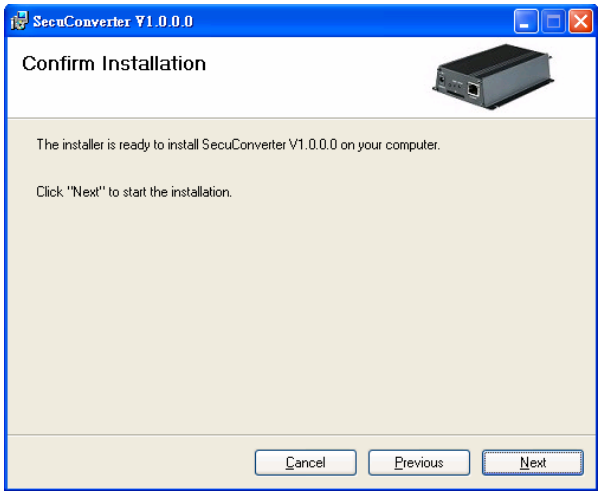


図 2-16

(5) インストール終了後 Close を押し完了です。

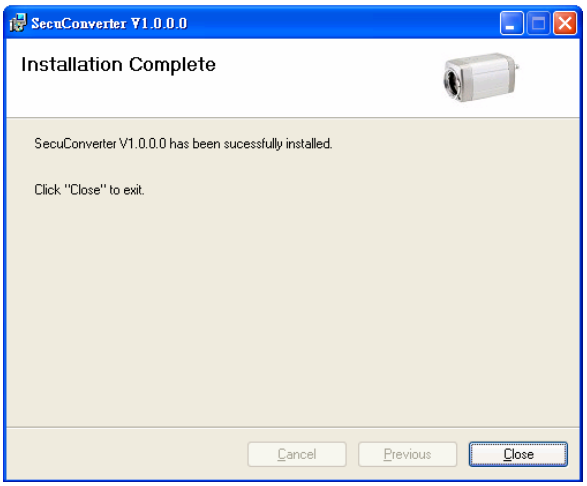


図 2-17

2.3 PC の推奨スペック

CPU	Intel® Core 2 Due E7200 以上
RAM	1GB 以上
ビデオメモリー	512M 以上
Operation System	Microsoft Windows XP/VISTA/7
Browser	IE6 以上

2.4　通常の接続に戻す

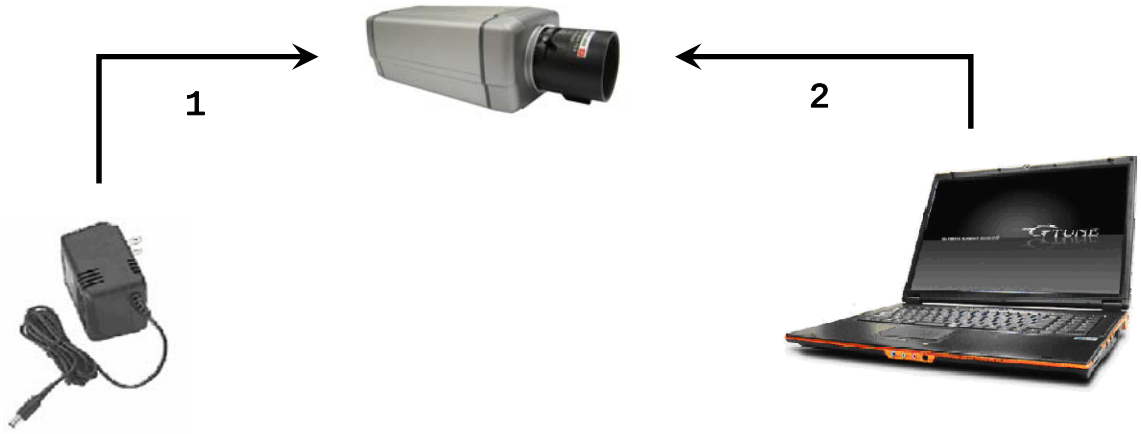


図 2-23

設定ボタンを押し、セットアップ画面に入ります。

図 2-24

ネットワークを押し、元のネットワークグループに戻します。
ルーターに繋がっている場合は　ＤＨＣＰ（自動取得）にします。

ＰＣを元のネットワークに戻す方法
注意）ネットワークによっては、自動取得が出来ない場合があります。

Windows XP の場合
[マイ ネットワーク]右クリック→[プロパティ]→[ローカル エリア接続]
右クリック→[プロパティ]→[インターネット プロトコル(TCP/IP)]→
[プロパティ]→下図が表示します。

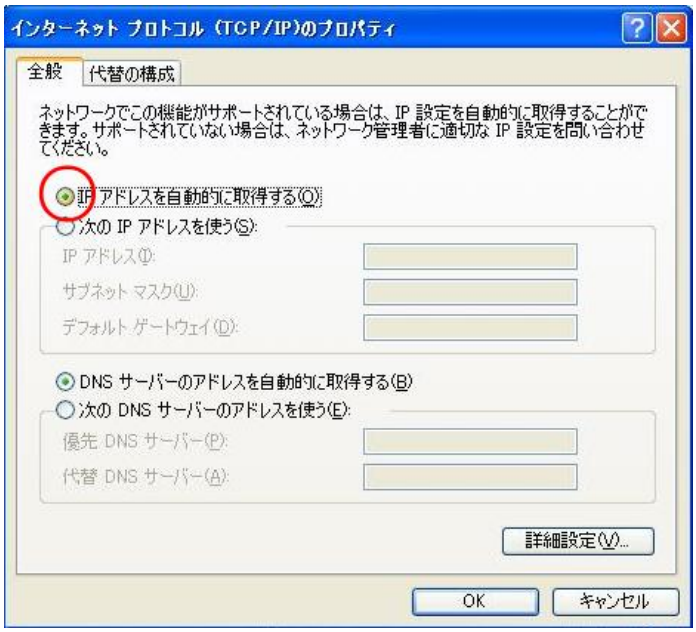


図 2-25

IP アドレスを自動的に取得するにチェックが入っていることを確かめ、
[スタート]→[ファイル名を指定して実行]→[cmd]と入力しＥＮＴＥＲ→
コマンドプロンプト画面が表示されますので[ipconfig]と入力すると
現在のＰＣのアドレス等が表示されます。

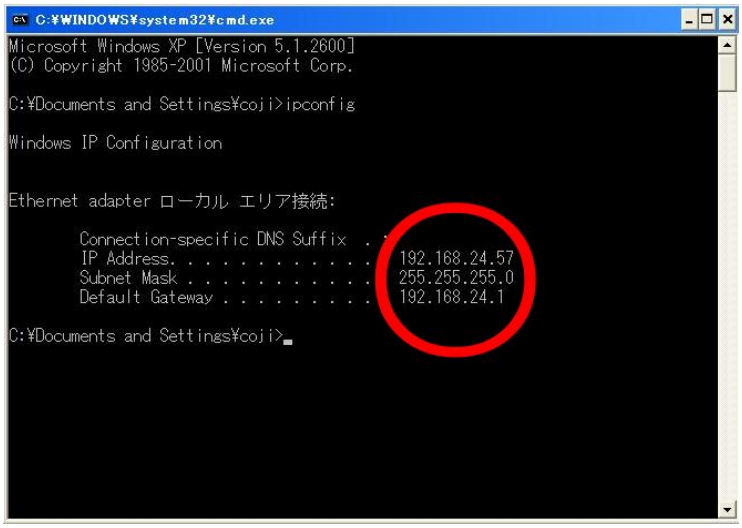


図 2-26

図 2-27

図 2-27 のように、ルーターに IP カメラ及び PC をＬＡＮケーブルで接続します。

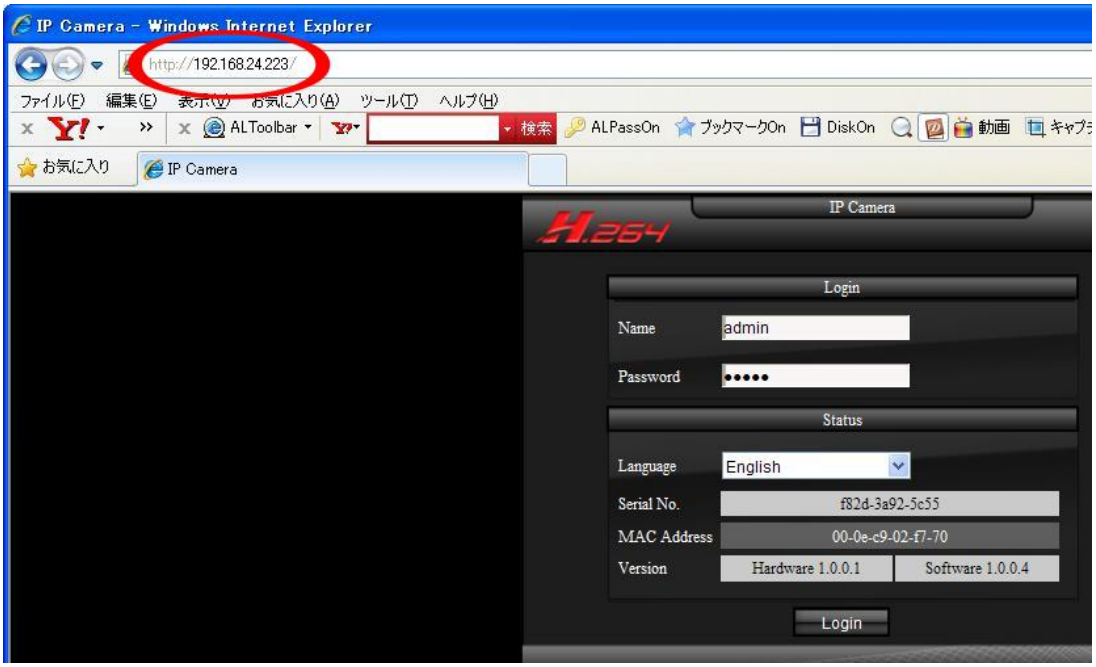
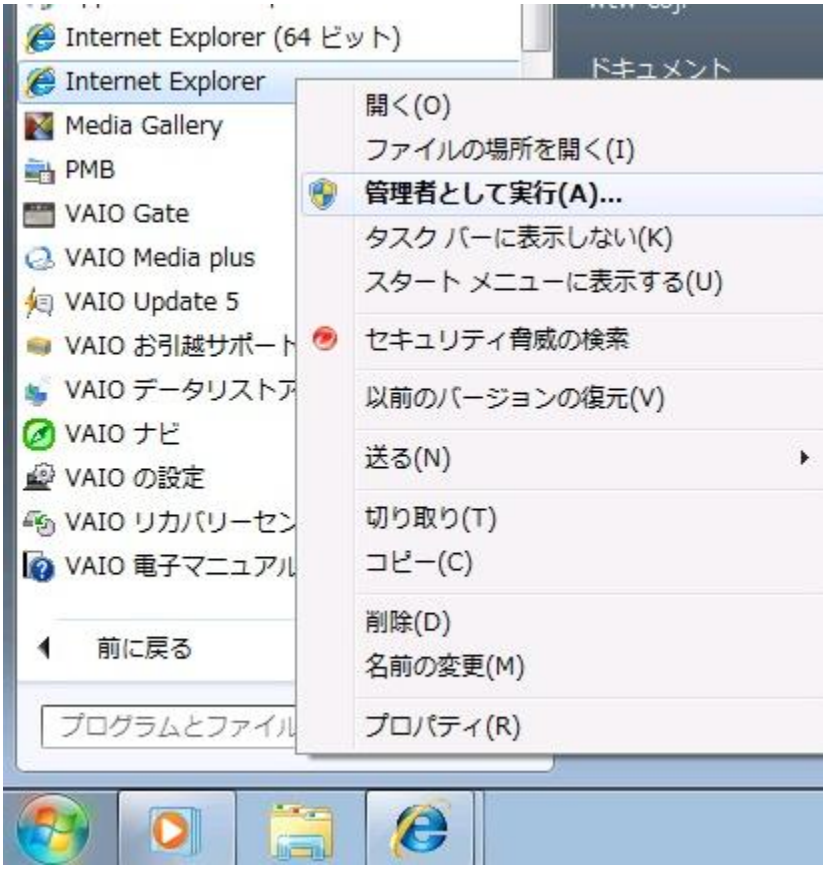


図 2-28

IE を起動させます　図 2-25 で入力した IP アドレスを入力すると
図 2-28 が表示しますので、アカウント：初期設定は、admin、
パスワード：初期設定は、admin と入力しログインしますと
現在のカメラの映像が表示します。

Windows 7 の場合
[マイ ネットワーク]右クリック→[プロパティ]→[ローカル エリア接続]→
[プロパティ]→[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IP)]→
[プロパティ]→図 2-1 が表示します。

IE を起動させる時、下図のように管理者として実行して下さい。
注意）通常の起動では、録画等が出来なくなります



3. メインページと基本設定

3.1 ユーザーログイン

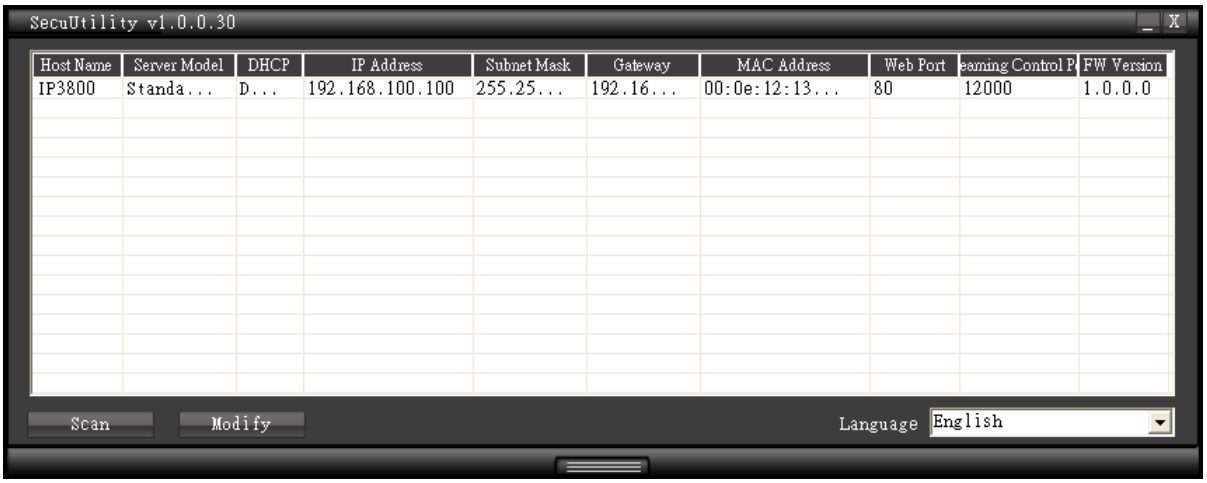


図 3-1

IP カメラの電源を入れ、SecuUtility を起動させます。
図 3-1 の画面が表示され、ローカル LAN 内の IP カメラを自動で検索し表示します。
アクセスしたい機器をダブルクリックし、ログイン画面を表示させます。
図 3-2 参照

図 3-2

アカウントとパスワードを入れログインボタンをクリックします。

初期設定　ユーザー名：admin
　　パスワード：admin

3.2 システムの状態

言語、シリアルナンバー、Mac アドレス、ハード及びソフトウェアーのバージョンを表示します。図 3-3 参照

図 3-3

3.2.1 言語

ダウンバーを押し希望の言語を選択してください。

3.2.2 シリアル番号

本製品のシリアルナンバーです

3.2.3 Mac アドレス

12 桁の番号は、マックアドレスです。

3.3 ライブ画像

ログイン後、ライブ映像が表示され、操作バーが表示し、左から動画タイプ、ソース、デジタルズーム、ユーティリティー、下部のライト表示は,現在の状態を示します。図 3-4 参照

図 3-4

3.3.1 動画タイプ

本機には、H264 および MJPEG の動画タイプがあります。
初期設定は、Ｈ．２６４が設定されています。
ＭＪＰＥＧに変更できます。

3.3.2 ソース

カメラ 1 を選択します。

3.3.3 デジタルズーム

デジタルズームが出来ます。　X1, X2 , X4 が選択できます。

3.3.4 ユーティリティー

左から全体表示、スナップショット、録画, 録画停止、音声、音声通話の順番で並んでいます。図 3-5 参照

図 3-5

■ 全画面

を押すと、全画面で表示されます。ダブルクリックにて標準画面に戻ります。

■ スナップショット

を押すと、現在の画面を静止画で保存できます。保存先は変更可能です。

■ 録画

を押すと、ＰＣに録画を開始し、 ボタンで停止します。
保存先は変更可能です。

参照：1.録画ファイルは、５分毎に作成されます。HDD 容量が 1GB を下回ると自動で停止されます。

2. 他の録画されていないカメラに切り替わった時または、違うカメラを選択した場合、録画が停止します。

■ 音声

を押すと、音声付カメラからの音声が出力されます。

再度 を押すと MUTE（消音）になります。

■ 音声通話

を押すと、スピーカ付のカメラに音声を出力できます。

再度 を押すと停止します。

3.3.5 ライト表示

現在の状況をライトで示してくれます。左より、録画、音声、音声通話です。図 3-6 参照

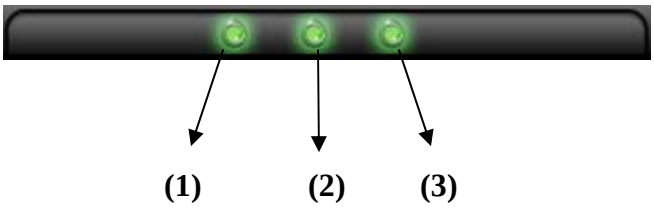


図 3-6

(1) 録画中表示

初期設定は、OFF に設定されています。 を押すと、左ライト (1)が点滅し、 を押すと録画停止し、ライトは消灯します。

(2) 音声状況表示

初期設定は、OFF に設定されています。 を押すと、真中のライト(2) が点滅します。再度 を押すと音声が停止し、ライトは消灯します。

(3) 音声通話状況表示

初期設定は、OFF に設定されています。 を押すと右のライト(3)が点滅し、 を押すと音声通話が停止し、ライトは消灯します。

4. 設定

画面右上の設定を押すと、設定画面に移行し、各種設定が可能になります。
図 4-1 参照
ライブビューを押すとライブ画面に移行します。図 4-2 参照

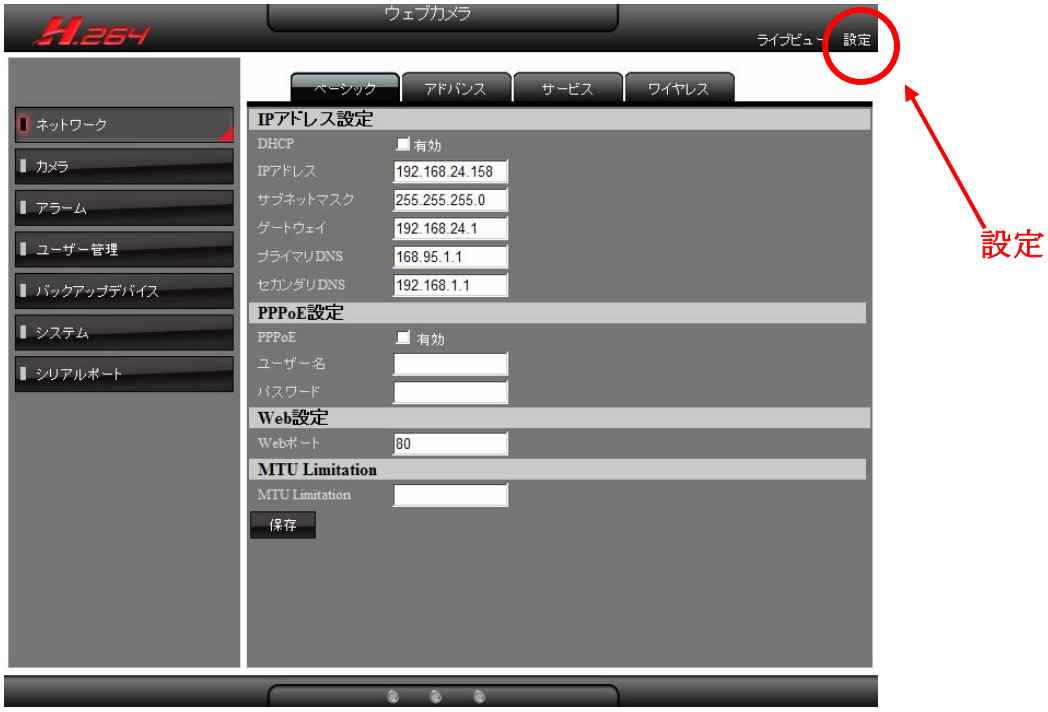


図 4-1

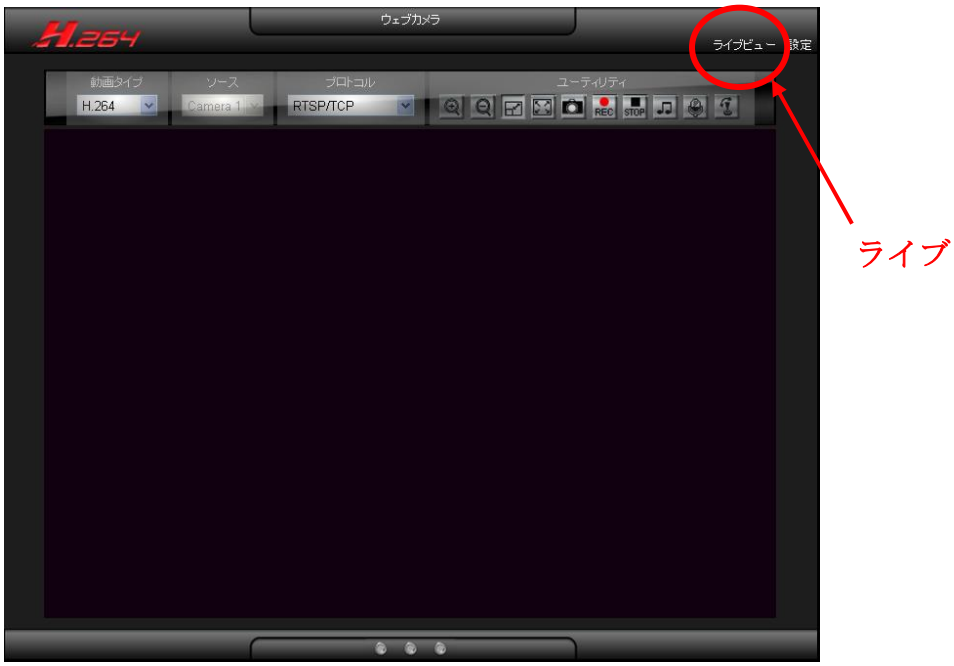


図 4-2

4.1 ネットワークの設定

4.1.1 基本設定

左タグの

を押すとネットワークの設定ができます。
上部の 4 個の内ベーシック設定を押すと図 4-3 が表示します。
IP アドレス設定（DHCP モード､手動モード、PPPoE モード）の選択が可能です。
変更後は、保存を押してください。

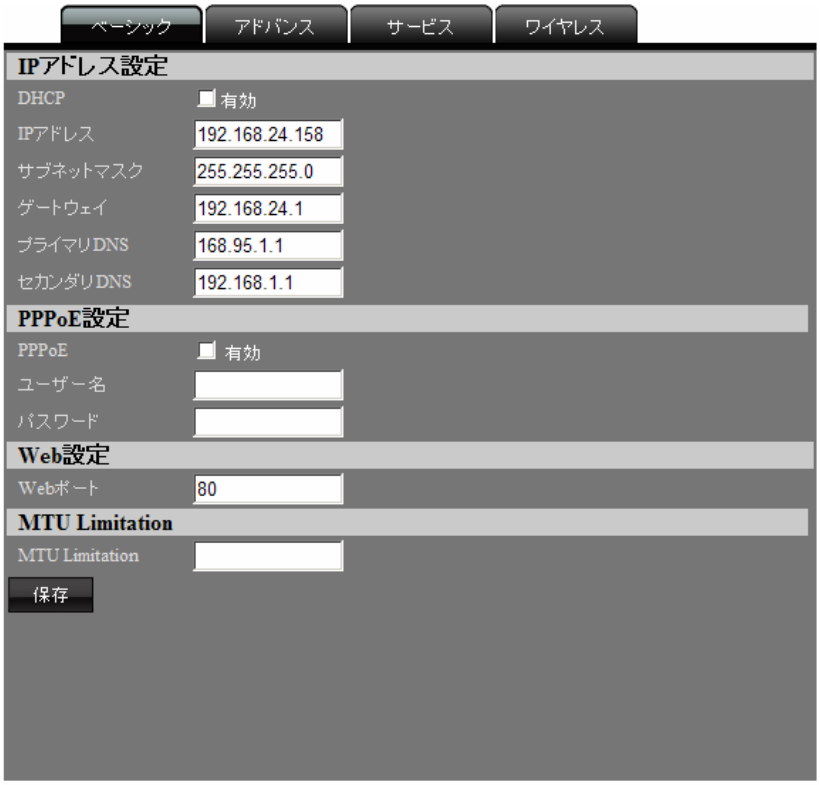


図 4-3

4.1.1.1 IP アドレス設定

DHCP と手動入力をサポートしています。

■ DHCP

有効にチェックを入れるとルーターから自動で IP アドレスが設定されます。

■ IP アドレス

IP アドレスを表示、手動入力など設定時に、変更可能。

■ サブネットマスク

サブネットマスクを表示します。
IPアドレスが変更されたら、サブネットマスクを正しく設定してください。

■ ゲートウェイ
ゲートウェイの IP アドレスを入力します。（通常ルーターアドレスです）

■ プライマリー DNS
プライマリーDNS サーバの IP アドレスを定義します。
IP アドレスの代わりに名前でこの機器を識別するために使われます。

■ セカンダリー DNS
プライマリーDNS サーバーで接続されない時使用されます。

4.1.1.2 PPPoE　設定(PPPoE で接続しない場合は必要ありません)
ISP を通じて PPPoE でインターネットに接続します。図 4-3 参照

■ PPPoE
有効にチェックを入れます。

■ ユーザー名
ISP アカウントのユーザー名を入力します。

■ パスワード
ISP アカウントのパスワードを入力します。

4.1.1.3 Web ポート設定
HTTP プロトコルを使用するポート番号を入力します。
工場出荷時は、80 に割り振られています。
違ったポート番号で接続するのであれば新しい番号を割り当ててください。
8080 に設定しなおした時は、下記のように IE に入力するとアクセスできます。
http://192.168.100.100:8080

4.1.2 アドバンス設定

アドバンス設定のタグをクリックすると下記図 4-4 の画面が表示されます。

図 4-4

4.1.2.1　ポート設定

機器の使用のため　ポート番号の設定を行います。

■ **開始ポート**
機器の開始ポートを設定します。2001～65530 のレンジで設定できます。
12004 ポートは保持されます。

■ **終了ポート**
開始ポート設定を参照し、終了ポート番号を計算し入力ください。

■ **コントロールポート**
コントロール信号の送出に使用するポート
(このポート番号は、開始と終了ポートに基づいて、自動的に割り当てられます)

■ **映像通信ポート**
映像信号の送出に使用するポート
（このポート番号は、開始と終了ポートに基づいて、自動的に割り当てられます)

■ **音声通信ポート**
音声信号の送出に使用するポート
（このポート番号は、開始と終了ポートに基づいて、自動的に割り当てられます)

■ **イベントポート**
イベントメーセージを送出するためのポート(アラーム、動体検知、ビデオロス)
(このポート番号は、開始と終了ポートに基づいて、自動的に割り当てられます)

■ **音声通話ポート**
音声通話の送出に使用するポート
（このポート番号は、開始と終了ポートに基づいて、自動的に割り当てられます)

■ **FTP サーバーポート**
クライアント PC へのファイル送出に使用するポート
(このポート番号は、開始と終了ポートに基づいて、自動的に割り当てられます)

※最終確認の上、保存を押し設定を終了します。

4.1.3 サービス設定

サービスタグをクリックると設定できます。図 4-5 参照

図 4-5

4.1.3.1 DDNS 設定

DDNS の設定ができます。図 4-6

図 4-6

■ DDNS

有効にチェックを入れると DDNS が動作します。

■ サーバー

DDNS サーバーシステムを設定します。dyndns.org を選択します。
ＰＣで下記アドレスにアクセスし、登録し、アカウントとパスワードを取得してください。

http://www.dyndns.com

■ Host Name

上記アドレスにて登録したホスト名を入力します。

■ User Name

上記アドレスにて登録したユーザー名を入力します。

■ Password

上記アドレスにて登録したパスワードを入力します。

4.1.3.2 SMTP 設定

SMTP サーバー経由で E-MAIL を送れます。
25 番ポートが使用可能なネットワーク環境しか　メールは送れません。
図 4-7 参照

図　4-7

■ **送信元アドレス**
送信者アドレスを入力します。

■ **受信先アドレス番号**
受信者 E-mail アドレスを最大５個番号設定できます。
あらかじめ記憶したメールアドレスを選択できます。

■ **受信者アドレス**
受信者 E-mail アドレスを入力します。

■ **ユーザー名**
ユーザー名を入力します。

■ **パスワード**
パスワードを入力します。

■ **メールサーバーアドレス**
SMTP サーバーアドレスを指定します。

4.1.3.3 RTSP 設定

本機器は、RTSP 機能をサポートしています。図 4-8 参照

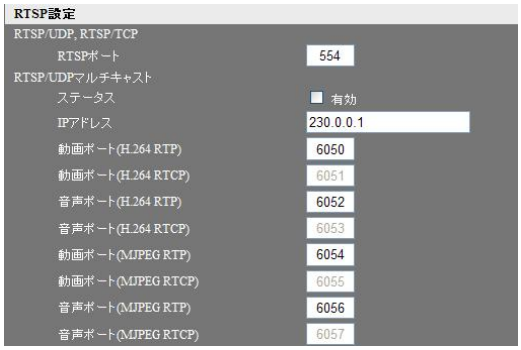


図 4-8

■ RTSP

有効にチェックを入れると RTSP が動作します。

4.1.3.4 携帯電話モード設定

携帯電話機能を有効にします。

IPHONE　携帯電話で画像を見ることができます。図 4-9 参照

図 4-9

IPHONE のＡＰＰストアから　STREMER をダウンロードします

下記のアドレスを携帯電話に入力します。

rtsp://IP アドレス/3gpp

注意：PC 上の IE で　上記アドレスに接続すると、本機能の動作が確認でます。

4.1.3.5 UPnP 設定

UPnP 機能を有効にすると、デスクトップ上の My Network で見つけることが可能となります。図 4-10 参照
注意：UPnP 機能は機器とデスクトップ上で有効にする必要があります。

図 4-10

4.1.3.6 FTP 設定

ファイルを FTP サーバにアップロードすることが出来ます。
図 4-11 参照

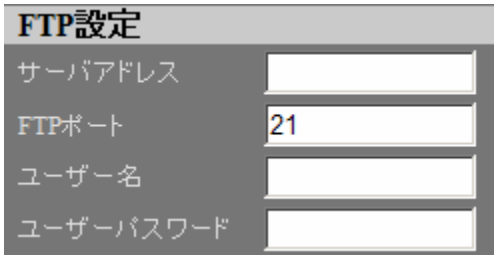


図 4-11

■ **FTP サーバー**
FTP サーバーアドレスを入力ください。

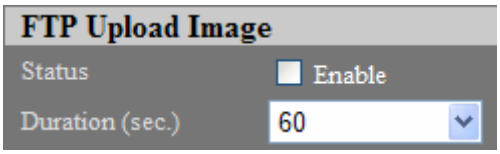
■ **FTP ポート**
FTP ポート番号　初期設定値は 21 です。

■ **ユーザー名**
ユーザー名を入力します。

■ **ユーザーパスワード**
パスワードを入力します。

4.1.3.7 FTP アップロードイメージ

FTP サーバーに画像をアップロードします。



■ **状態**
有効にすると、FTP へ定期的にライブ画像をアップロードします。

■ **間隔(秒)**
アップロードする間隔を指定します。

4.1.4 無線

本製品は　無線ＬＡＮには、対応していません。

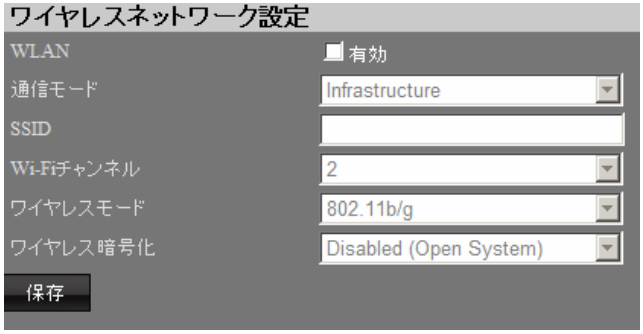


図 4-12

4.1.4.1 無線ネットワーク設定

■ **無線 LAN**

有効にチェックを入れ無線機能を動作させます。

■ **コミュニケーションモード**

infrastructure　に設定します。

■ **SSID**

無線 AP ルーターの SSID を入力します。

■ **Wi-Fi チャンネル**

Wi-Fi チャンネルを Auto, 1 ~ 11 から選択します。

■ **無線モード**

無線モードは、802.11b/g です。システムは自動で選択します。

■ **無線の暗号化**

無線の暗号タイプを選択します。：Open System, WEP(Shared key), and WPA-PSK.

◎WEP(Shared key) Mode, 図 4-13 参照

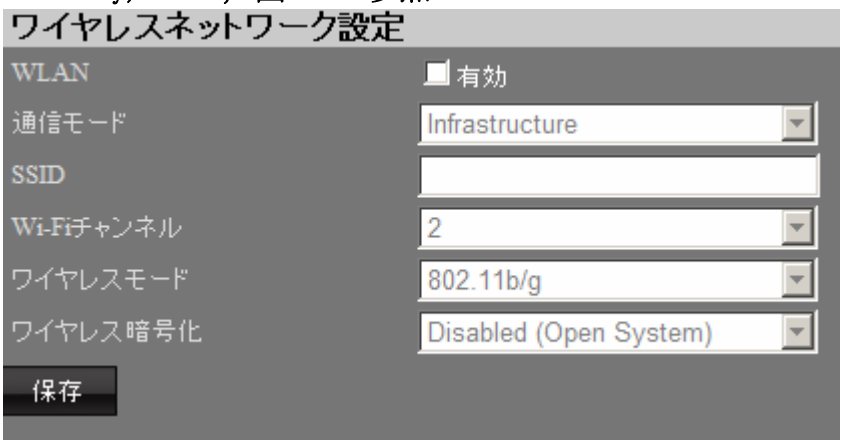


図 4-13

(1) WEP Mode

WEP 暗号コードの 64bit もしくは 128 bit 選択します。

(2) 初期 ID 番号

１～４から ID from 1 to 4.

(3) Key1~Key4

無線 AP 設定の番号と一致した番号を入力してください。

本製品は　無線ＬＡＮには、対応していません。

◎ WPA-PSK Mode, 図 4-14 参照ください。

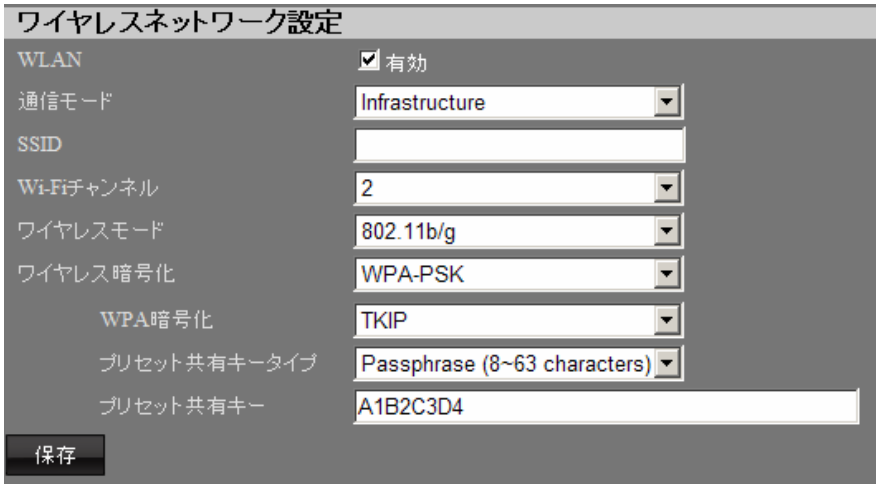


図 4-14

(1) WPA 暗号

暗号タイプを TKIP, AES から選択してください。

(2) Pre-shared Key Type

pre-shard key type を Passphrase, Hex から選択してください。

(3) Pre-shared Key

無線 AP 設定の番号と一致した番号を入力してください。

4.2 カメラ設定

をクリックすると、カメラの設定が可能です。

4.2.1 カメラ設定

図 4-15 カメラ設定の画面を参照してください。

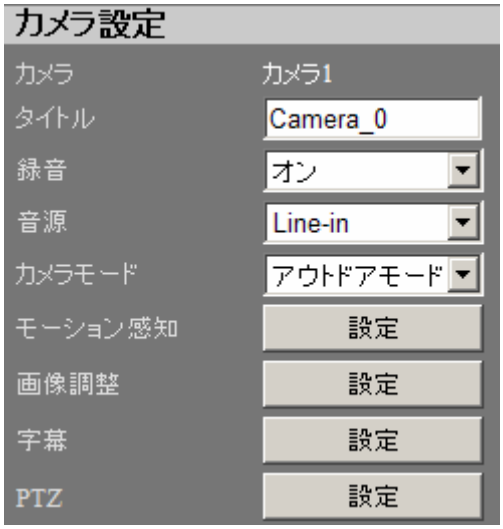


図 4-15

■ **タイトル**

数字・アルファベット・記号“-”，“_”and“.”などを使って最大 20 桁のタイトルを設定できます。

■ **録音**

オンにすると録音が可能になります。

■ **音声装置**

音声装置を選択します。(マイク・Line-in など)

(1)Line-in: 外部入力より音声を入力します。

(2) マイク：内蔵マイクより音声を入力します。

■ **カメラモード**

カメラの設置位置により室内モードと野外モードを選択します。

■ 動体検知

動作エリアは初期設定では、全範囲を動作領域に指定しています。
一度センサーが動作すると、１０秒～１５秒動作しません。図 4-16 参照
領域は３色のマスで表示されます。赤・緑・青で設定できます。

図 4-16

(1) ステータス

動体検知を動作させます。

(2) 感度

ドロップダウンメニューを押し感度調整ができます。
大きい数字ほど感度が敏感です。

(3) アラームアウト

動体検知をした時、外部出力をするかしないかを選択してください。

(4) ログ

チェックを入れると動体検知をした時、SD カードにログが記録されます。

(5) メール

チェックを入れると動体検知をした時、スナップショットをメールで送信します。このメール機能は、２５番ポートが有効な場合のみ　送信できます。

(6) FTP

チェックを入れると動体検知をした時、FTP サイトへイベント録画ファイルをアップロードします。

(7) SD カード保存

チェックを入れると動体検知をした時、スナップショットとイベント録画ファイルを SD カードへ保存します。
ＳＤカードに保存された動画ファイルには、音声が、入りません。

(8)削除
　選択したカラーエリアを削除します。
(9)すべて選択
　選択したカラーエリアを全選択します。
(10) すべてクリア
　すべてのカラーエリアを消去します。
※設定を有効にするため、保存ボタンをクリックし、終了してください。
　システムファイルを保存するためには、約 10 秒かかりますので
　１０秒間待ってください。

■ 画像調整

画像の調整が可能です。(図 4-17 参照)

図 4-17

(1)画像色
　画像をカラーもしくはモノクロを選択します。
(2)明るさ
　画像のブライトネス調整をします。
(3)彩度
　色合い調整をします。数字が大きくなると色合いも増します。
(4)コントラスト
　コントラストを調整します。数字が大きくなるとコントラストも増します。
(5)垂直反転
　有効にチェックを入れると画像の上下を反転表示します。

(6)水平反転
　有効にチェックを入れると画像の右左を反転表示します。

※設定を終了する前に保存ボタンを押し保存してください。

■ 字幕設定

字幕ボタンを押します。図 4-18 参照

図 4-18

◎リアルタイム字幕設定

ライブモード OSD 表示。 ライブ映像ソースは、シングルチャンネルとして選択ください。

(1) 表示項目

タイトルもしくは、秒間フレームにチャックを入れると画面に表示します。

(2) 表示位置

ドロップダウンを押し、表示位置を選択してください。

右上部・左上部・右下部・左下部から選択できます。

(3) カラー

OSD の色を選択できます。

(4) 背景色

ドロップダウンを押し、背景色を黒・白・透明から選択します。

(5) 透明度

有効のチェックを入れると透明度が変更されます。

◎録画 OSD 設定

録画時の字幕を設定します。

(1) 日/時刻

有効にチェックを入れると日付/時間を録画時に記録します。

※設定を有効にするため、保存ボタンをクリックし、終了してください。

保存に約１０秒かかります。

■ PTZ

PTZ 設定(Pan Tilt Zoom)設定，図 4-19 参照

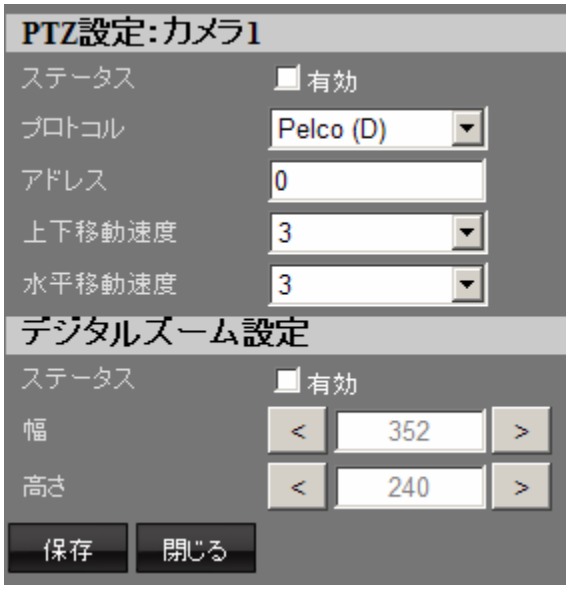


図 4-19

◎ PTZ 設定

有効にチェックを入れると PTZ コントロールパネルで操作できます。
4.3.6 項参照

(1) ステータス

有効にチェックを入れると、PTZ 操作が有効になります。

(2) プロトコル

PTZ カメラのプロトコルを選択します。Palco D と Palco から選択できます。

(3) アドレス

PTZ アドレスを入力します。(0 ～255)

(4) 上下移動速度（チルトスピード)

PTZ のチルトスピードが選択できます。数字が大きい方が早くなります。

(5) 垂直移動スピード（パンスピード)

PTZ のパンスピードが選択できます。数字が大きい方が早くなります。

◎ デジタルズーム設定

有効にチェックを入れるとライブモード時にユーザーは、デジタルズームパネルにて操作可能となります。4.3.7 項参照

(1) ステータス

有効にチェックを入れるとデジタルズーム機能が働きます。ストリーム解像度はこの機能を可能にするため 1280×800 にしてください。

(2) 幅

デジタルズームの幅を、352 から 1280 の間で変更できます

(3) 高さ

デジタルズームの高さを、240 から 800 の間で変更できます

4.2.2 ストリーミング設定

解像度、ビットレート、フレームレートの設定が可能です。図 5-20 参照

図 5-20

■ **解像度**

1920x1080, 1280x960, 1280x720, 720x480, 640x480 から選択できます。

■ **ビットレート**

ネットワークのスピードに合わせて、レートの設定が出来ます。

128k, 256k, 512k, 1M, 2M, 3M, 4M

■ **FPS**

フレームレートの設定が出来ます。

1, 2, 3, 5, 8, 15, 20, 25, 30

4.2.3 イベント録画

動体検知時の録画時間が設定できます。 図 5-21 参照

図 5-21

■ イベント前録画

動体検知をした時より前を録画できます。
０秒から１０秒

■ イベント後録画

最後に動体検知をした時より後を録画できます。
０秒から１０秒
※設定を有効にするため、保存ボタンをクリックし、終了してください。
保存に約１０秒かかります。

■ ＡＶＩ変換 SecuConverter

ＳＤカードに記録されている動画を見るためには、ＡＶＩ変換が必要です。

(1) SecuConverter を起動させてください。 図 5-22 参照

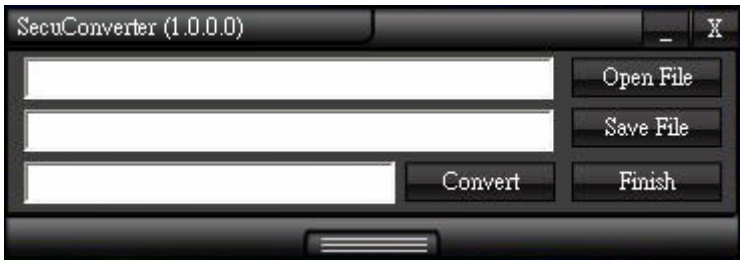


図 5-22

(2) Open File をクリックします。
ＳＤカードに記録されているファイルを指定してください。

(3) Save File をクリックします。
変換後の保存先を指定してください。

(4) Convert をクリックします。
変換を開始します。終了したら、Ｆｉｎｉｓｈをクリックしてください。

変換したファイルは、ＰＣのメディアプレーヤー等で、再生できます。

ＳＤカードに保存された動画ファイルには、音声が、入りません。

4.3 アラーム

をクリックするとアラームの設定出来ます。
同じイベント信号は連続では反応しません。

4.3.1 アラーム設定

図 4-23 参照

図 4-23

■ ステータス
有効にチェックを入れるとアラーム機能が働きます。

■ アラームアウト
アラーム動作時アラーム出力をするか、しないかを選択してください。

■ ログ
有効にチェックを入れるとアラーム動作履歴を SD カードに保存します。

■ メール
有効にチェックを入れるとアラーム動作時､スナップショットをメールで送信します。このメール機能は、２５番ポートが有効な場合のみ　送信できます。

■ FTP
有効にチェックを入れるとアラーム動作時、イベント録画ファイルを FTP にアップロードします。

■ SD カードに保存
有効にチェックを入れるとアラーム動作時、スナップショットおよびイベント録画ファイルを SD カードに保存します。
ＳＤカードに保存された動画ファイルには、音声が、入りません。

※設定を有効にするため、保存ボタンをクリックし、終了してください。

4.4 ユーザー管理

をクリックすると、ユーザー管理画面に入ることができます。

４種類のセキュリティーレベルを提供しています。
（管理者・監督者・オペレーター・ゲスト）図 4-24 参照

図 4-24

■ パスワード変更
旧パスワードと新パスワードを入力し､変更を押すとパスワードが変更されます。

注意）操作者及びゲストのパスワードは変更できません。もし変更を希望される場合、管理者もしくは責任者としてログインして変更してください。また、オペレーター及びゲストのアカウントは削除して新しくアカウントを作成してください。

■ アカウント作成
ユーザー名およびパスワードを入力します。セキュリティレベルおよび追加ボタンを押します。最大 15 ユーザーを追加可能です。アカウント名下記の内容にしたがってください。

(1)ユーザー名入力（0~9、大文字および小文字のアルファベット、記号“-”，“_”，“.”）最大 32 文字までで制作します。
(2)パスワード入力（0~9、大文字および小文字のアルファベット、記号“-”，“_”，“.”）最大 32 文字までで制作します。
(3)ユーザーレベル設定（責任者・オペレーター・ゲスト）
(4)追加ボタンを押す。

注意) 管理者は､監督者､オペレーター､ゲストのアカウントを作ることができます。オペレーターおよびゲストはアカウントを作ることができません。

■ ユーザーリスト

リストで確認できます。

■ ユーザーセキュリティーレベル

(1) 管理者（すべてに対して権限を有する）（Full permission）

管理者としてログインすると、すべてのデバイスを操作できます。
（ライブモード、録画モード、オペレーターやユーザーを含む）

a. 工場出荷時の管理者名 ： admin
b. 工場出荷時のパスワード：admin

(2) 監督者

責任者をしてログインすると管理者と同じようにすべての操作が可能になります。ただし、管理者のアカウントや同レベルのグループユーザーを削除等ができません。

(3) オペレーター

オペレーターとしてログインすると、ライブモードのすべての機能を使うことができます。

(4) ゲスト

ゲストとしてログインすると、ライブ映像のみを見ることができます。

4.5 バックアップ

をクリックすると、ユーザー管理画面に入ることができる。SD カードは電源を入れたまま抜き差しすると働きませんので注意ください。必ず電源を切った状態で SD カードを挿入してください。図 4-25 参照

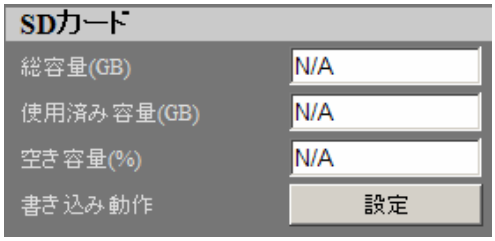


図 4-25

■ **総容量**
SD カードの総容量を表示します。
■ **使用容量**
SD カードの使用容量を表示します。
■ **残容量**
SD カードの残容量を表示します。
■ **SD カード設定**
SD カードの状態を設定します。

図 4-26 参照

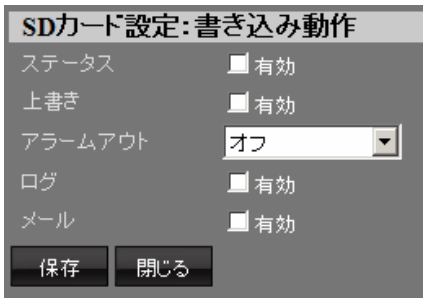


図 4-26

(1) ステータス
有効にチェックを入れると SD カードが記録が可能になります。

(2) 上書き
有効にチェックが入ると、ＳＤカードが一杯になった時、スナップショットおよびイベント録画ファイルが古い順に上書きされます。

(3) アラームアウト
SD カード動作時、センサーが作動した時のアラーム出力のオン/オフを選択します。
(4) ログ
有効にチェックが入ると、SD カード動作時、ログファイルを保存できます。

(5) メール
有効にチェックが入ると、SD カード動作時、イベントログをメールに送信できます。

※設定を有効にするため、保存ボタンをクリックし、終了してください。
保存には、約１０秒かかります。

4.6 システム

をクリックするとシステムの設定ができます。

4.6.1 基本設定

図 4-27 参照

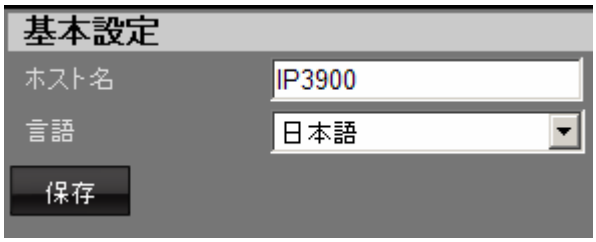


図 4-27

■ **ホスト名**

UPNP 機能を有効にした後、機器の名前を決めてください。
機器は PC のマイネットワークより探すことができます。

注意）1. UPnP 機能は、PC と機器で有効にする必要があります。
2. 名前は、0~9、大文字および小文字のアルファベット、記号“-”，“_”，“.”で最大 32 文字までで制作します。

■ **言語**

ドロップダウンにて使用する言語を選択してください。

※ 保存ボタンを押し設定を保存してください。

4.6.2 アドバンス設定

アドバンス設定のタグをクリックし、設定を行ってください。
図 4-28 参照

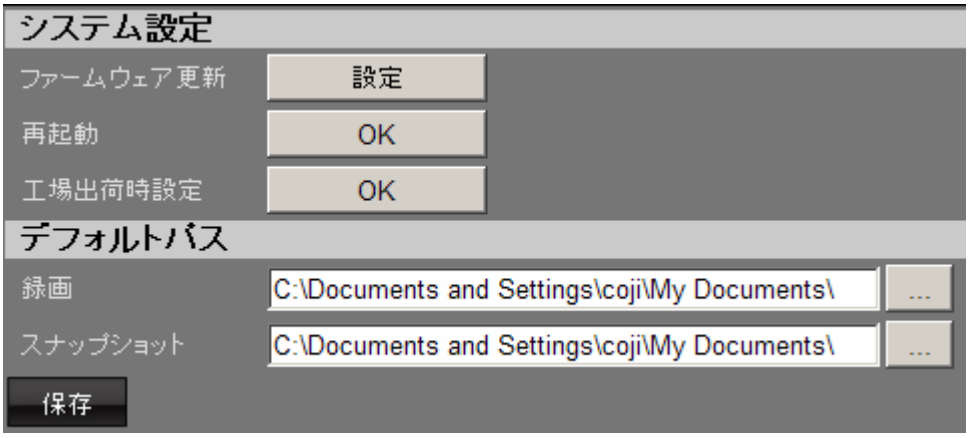


図 4-28

■ ファームウェアーの更新

設定ボタンを押すと、新しいウィンドーがポップアップし
「linux.bin」と 「linux.crc」の 2 個のファイルを同時に選択し
「開く」のボタンを押します。
図 4-29 参照
アップグレードが終了すると自動で再起動します。

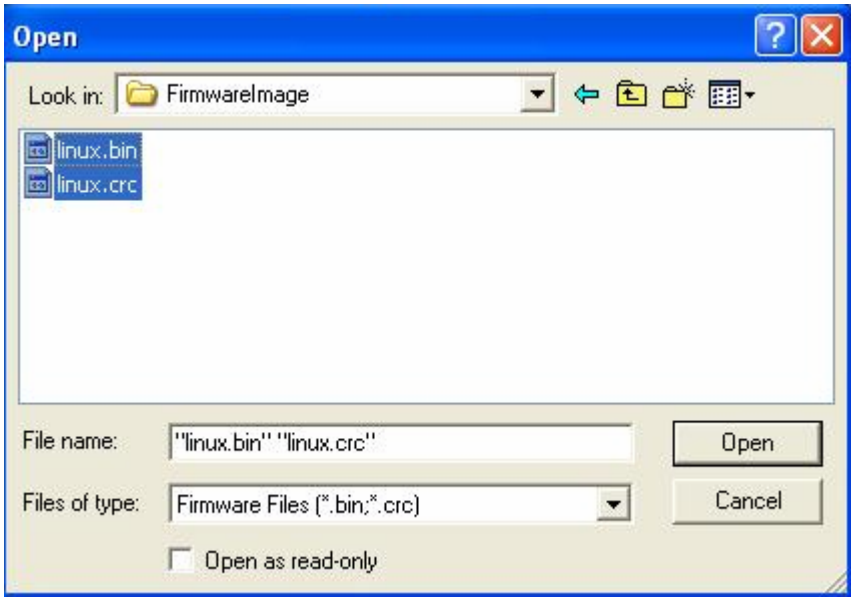


図 4-29

■ 再起動
機器の再起動をします。

■ 工場出荷状態
工場出荷状態に戻す時 OK ボタンを押すとすべてがリセットされ工場出荷状態に戻ります。

■ 録画ファイルの初期保存先
すべての録画ファイルの初期保存先を表示します。
（初期値は、My Documents です）
変更可能ですので右ボタン押し参照してください。

■ スナップショットファイルの初期保存先
すべてのスナップショットファイルの初期保存先を表示します。
（初期値は、My Documents です）
変更可能ですので右ボタン押し参照してください。

※ 保存ボタンを押し設定を保存してください。

4.6.3 時間設定

時間設定のタグを押し時刻設定を行います。図 4-29 参照
時間設定は管理者としてログインしてください。

図 4-29

■ **日付**

日にちを設定します。配列は年/月/日です。

■ **時間**

時刻を設定します。配列は:時/分/秒　24 時間表示です。

■ **タイムゾーン**

ドロップダウンを押し、（ＧＭＴ+09：00）を選択します。

■ **同期**

有効にクリックを入れるとタイムゾーンで選択した地域に自動で変更します。

■ **NTP サーバー**

チェック BOX に、インターネットを利用して時刻を自動で修正します。

例えば、ntp.nict.jp　を入れます。

※ 保存ボタンを押し設定を保存してください。

4.6.4 夏時間（サマータイム）

サマータイムは、設定の必要はありません。

Figure 5-30

■ DST

有効にチェックを入れるとサマータイムモードが有効になります。

■ 開始日

サマータイム開始日指定してください。月/日

■ 開始時刻

サマータイム開始時刻を指定してください。時:分

■ 終了日

サマータイム終了日指定してください。月/日

■ 終了時刻

サマータイム終了時刻を指定してください。時:分

※ 保存ボタンを押し設定を保存してください。

4.7 シリアルポート

をクリックし、通信ポートの設定を行います。
図 4-31 参照

図 4-31

■ ボーレート（bps）
ボーレートの設定を行います。4800，9600，19200，もしくは 38400

■ データービット
通信データービットを選択します。 8 ビット，7 ビットもしくは 6 ビット

■ パリティ
なし、奇数、偶数かを選択します。

■ 停止ビット
1 もしくは 2 を選択します。

※ ※保存ボタンを押し設定を保存してください。

仕様

商品名	NET-C52MEG
映像素子	1/2.7" Full HD 2M pixel CMOS
総画素数	200万画素
映像出力	NTSC(1Vp-p/75Ω)
接続端子	映像:Ethernet 電源:2.1ΦDCJ
レンズ	C/CSマウント ※DCアイリスレンズ対応
最低被写体照度	0.5Lux F2.0
PRE-録画時間	0~10秒
AFTER-録画時間	0~10秒
音声	内蔵マイク×1 ライン入力×1 ※SDカードへの録画時は音声は録音されません
SDカード	SD2.0 ※マイクロSDカード
動作温度	0℃~+50℃
外形寸法	66(W)×60(H)×107.6 (D)mm ※取付けマウント含む
重量	約300g レンズ含まず
電源	DC12V 約416mA

項目	ネットワーク仕様
画像圧縮方式	H.264/MJPEG ※メニューにて選択できます
Ethernetポート	1ポート
解像度	30fps 1920×1080
セキュリティ	パスワード・ユーザー名
ネットワークインターフェース	RJ-45 10/100Mb Ethernet
ネットワークプロトコル	HTTP,FTP,DNS,DDNS,RTSP,RTP,RTCP TCP/IP,DHCP,PPPoE
RS-485コントロール	Pelco-D, Pelco-P
ネットワークユーザー数	最大10ユーザー